

施政方針を 問う

令和3年 第1回定例会 代表質問での質問・答弁(要旨)

市長の施政方針に対して各党派等から代表して質問を行った議員が、一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。実際の質問は、自由民主党市議団、立憲・市民フォーラム、日本共産党国分寺市議団、公明党、無党派（国分寺・生活者ネットワーク）、無党派の順番で行われましたが、紙面の都合上以下のように掲載しています。

新型コロナウイルス対策を最優先に

◆令和3年度施政方針の考え方について

本橋 井澤市長の現任期は今年の7月12日である。井澤市長の施政方針に対する決意、3期目への意欲について問う。**市長** 今のコロナ禍において、市民の生命と健康、生活を守りぬき、また災害時の防災拠点となる新庁舎建設を成し遂げることが私の使命だと考えている。3期目に向けて、しっかりと将来につながる国分寺市政をつくっていききたい。

◆新型コロナウイルス対策について

本橋 「今年度も新型コロナウイルス感染症対策を最優先に、医療機関との連携を強化し、検査体制への支援等を継続するほか、変化する情勢に的確に対応する」とある通り、総力を結集してこの新型コロナウイルスに対応していく必要がある。新型コロナウイルス感染症を収束させる上で、重要な柱となるワクチン接種については、多くの市民が注視している状況であるが、現在の準備状況について伺う。**市長** 医師会とも協議を行い、庁内でも関係部を集めて検討を重ねた結果、**市役所駐車場内にプレハブを設置し、集団接種会場を確保**することにした。

ディープフリーザーの購入や万が一のアナフィラキシー等への対応も考慮に入れ準備を行なっている。市としては供給され次第すみやかに実施できるよう準備を進めている。

◆新型コロナウイルスの影響に伴う高齢者へのフレイル予防について **本橋** 高齢者の方々は、一度筋力が衰えるとなかなか元に戻すことが困難である。高齢者の方々にコロナ禍に置いてどのように体力を維持していただくのかはとても重要な課題である。市としても取り組みをお願いしたいと思うが見解を伺う。**市長** コロナ禍において外出自粛が求められる中、自宅でフレイル予防に取り組んでいただけるよう、これまでフレイルに対する注意喚起チラシの配布やフレイル予防のトレーニングを収めた動画の配信などを行ってきた。今後はオンラインの活用も視野に入れ、感染リスクを極力抑えながら、フレイル予防の活動が継続できるよう、これまで以上に工夫を凝らしながら取り組みの強化を図っていききたい。

◆コロナ禍における地域経済活性化の取り組みについて **本橋** 世界的なパンデミックと言

自由民主党市議団
本橋 たくみ



われる状況下において、意識的に、ヒトの動きを制限し今日に至るわけであるが、経済的に困窮をしている事業者を支援していくことは極めて重要な政策であると考えている。電子マネーを活用した事例も他市では行われている。当市でも検討をお願いしたいが見解を伺う。**市長** キャッシュレス決済によるポイント還元事業は、新型コロナウイルス感染症を踏まえた「新しい生活様式」に対応しつつ、事業者への支援や地域経済の活性化を図る効果が期待できる事業であると考えている。小規模事業者を応援するひとり3千円の商品券事業の準備を進めているところであるが、キャッシュレス決済によるポイント還元事業についても検討していきたい。

◆財政について **本橋** 新庁舎建設を踏まえた上で、今後の財政運営をどのように行っていくのか伺う。**市長** 不断の改革を行い、新たな財源の確保にも努めつつ、財政規律を堅持し未来につながる持続可能な行政運営を行なっていく。

コロナ禍の実態をつかみ、熟慮し、実行へ

☆コロナ対策① 頼りは「市」との認識を

星 不安が広がるなかで、市民がまず頼りにしたいのは、国や都ではなく、市であることを実感している。「市にもっと権限があれば、より対応できる」と感じることはどんなことか。**市長** 市民への情報発信が必要と考える。感染者の人数、性別、年代、療養状況、感染経路。この情報提供を市長会として都に要望してきた。

☆コロナ対策② 収入減の根拠と説明を

星 2021年度の市税収入を前年度比9億4千万円の減少と見込んでいる。どういった経済・雇用情勢の見通しから算出したものなのか。「『来年度の税収は厳しいので、要望に応えられないこともある』と市から言われた」との声をお聴きしている。市民にそう言わざるを得ないならば、予算額の根拠をきちんと示すべき。**市長** コロナの収束が見えないなかで、非常に悩んだ。リーマン・ショックの状況を踏まえて、ワーストシナリオで算定している。

星 暮らしに直結する事業で、削らざるを得ないものはあったのか。

市長 必要な事業はとりやめていない。

☆コロナ対策③ 市・学校行事のあり方

星 成人式は動画配信となり、学校では修学旅行、スキー教室、移動教室などが中止になっている。「人生の節目」となるような行事については、当事者の意見を十分に尊重し、中止ありきではなく「何ができるのか」「どうしたらできるのか」との視点で検討して下さい。

教育長 学校では、代替となる行事も検討してきたが、緊急事態宣言の延長で中止となったものもある。感染状況を把握しながら、関係者の意見を踏まえ、検討していく。

☆公共施設づくり 新庁舎・戸倉用地の建設

星 「プレイステーションも近くに転移してきたことだし、子ども関連の施設を設け『子育て応援』を柱として、この地域を発展させていきたい」。戸倉の現市役所用地の活用に対するご意見のひとつであり、こうした豊富なアイデアを市民は持っている。新庁舎建設、現市役所用地の活用について、どのような「対話の場」を設けていくのか。

市長 新庁舎は、基本設計の段階で市民説明会を2回予定している。現市役所用地についても、

立憲・市民フォーラム
星 いつろう



アンケートなどを取り組み進めてきた。コロナ禍でどのような形が適切なのかを検討しながら、交流・意見交換の場を設けていく。

☆バリアフリー推進 恋ヶ窪公民館の移転案

星 車いすの方でも、足腰が弱ってしまった方でも利用できるように、恋ヶ窪公民館のエレベーターの設置は40年前からの要望であると伺っている。この声に対応するために、近くにある市土地開発公社の所有地に「恋ヶ窪公民館を暫定的に移転させる」との案が一時示された。その後の状況はどうなっているのか。

教育長 暫定移転については、ひとつの案として検討しているが、決定したことはない。公民館運営審議会で意見をいただいているところでもあり、教育委員会で協議を行っていく。

星 突然出てきたこの案には、驚いたり、期待したり、がっかりさせられたりとの連続であるといった地域の声がある。誰もが利用しやすい公民館にして下さい。

コロナ禍でも必要な財源措置と財政規律を！

木村 = 10年前には財政調整基金がわずか1億7千万円、庁舎基金も廃止という状況から、現在は財調と庁舎基金がそれぞれ約50億ずつとした、井澤市長の財政手腕は高く評価している。今後も持続可能な財政運営を維持しながらの展望は。**市長** = 地方債の償還は着実に進めており、基金と地方債の比率が1対15から1対2にまで改善した。コロナ禍により令和3年度に関しては一

部起債や基金取り崩しもあるものの、必要欠くべからざる施策は削ることなく実行していく。**木村** = コロナと大規模地震などの複合災害の危険性も指摘されているが、市民の安心安全の視点から現在の取り組みや成果を伺う。

市長 = 市消防団が令和2年度に消防総監賞を受賞したことを皆にお伝えしたい。防災拠点の新市庁舎建設を進め、更に防災力を高めていく。

無党派
木村 いさお 徳



木村 = 平和事業に関し、市内児童が絵画の世界コンクールで受賞した。これは市長の平和施策の地道な取組が結実したものであるが如何か。**市長** = 平和の大切さを市として次世代に引き継ぐ事業をこれからも積極的に取り組んでいく。